

2学期の終業式の日を迎えました。学園祭や邇摩高フェア、球技大会など、感染予防対策をとることで実現した学校行事も数多くあった今学期でしたが、皆さんにとってはどのような毎日だったでしょうか。

人権・同和教育に関しては、各学年ともホームルームを実施し、**1年生「よりよいコミュニケーションのありかたとは～アサーティブネスの向上を目指して～」、2年生「水平社宣言から学ぶ」、3年生「結婚差別から考える」と題して学習をおこないました。**皆さんの感想は、3学期に特大号で紹介する予定です。



●素晴らしい『人権標語』をありがとうございました！

さて、学期のはじめには「人権標語」を提出してもらいました。「全校生徒の作品をすべて紹介したい！！」と思うほど、力作ぞろいで感激しましたが、先生方による「人権・同和教育担当者会」で優秀作品を選びましたので紹介します！

- ・「大丈夫 違いがあって あたりまえ」(1年生)
- ★ 「引かないで ぼくとあなたの 境界線」(1年生)
- ・「『大丈夫?』 その一言で 救われる」(1年生)
- ・「気をつけよう 言葉はときに凶器なり」(1年生)
- ★ 「広げよう 思いやりの輪 笑顔の輪」(2年生)
- ・「助け合い 皆で壁を 乗り越えよう」(2年生)
- ・「ありがとう その一言が 第一歩」(2年生)
- ・「苦しいな 画面を飛び交う その言葉」(2年生)
- ★ 「別々の個性があるから 輝ける」(3年生)
- ★ 「ありがとう 心広がる 愛言葉」(3年生)
- ・「ありがとう みんなが笑顔になる魔法」(3年生)
- ★ 「見捨てない ひとりひとりが宝物」(3年生)
- ・「スマートフォン てのひらさいずのきけんぶつ」(3年生)



(★印の作品は、大田市の人権標語募集事業に出品し、表彰されました！)

皆さんの、「身近にいる友だちや家族を大切にしよう」と思うその「人権感覚」に、私たち教員も心が洗われる思いがしました。それぞれどのような気持ちで書かれたのか、ぜひ皆さんも話題にしてみてくださいね。この優秀作品は、校内でも掲示するなどして活用させてください。

それでは皆さん、よい冬休みを過ごして下さいね。そしてよい新年を迎えられますように。

(*この便りは持ち帰り、保護者の方と人権について語り合うきっかけにしてください。人権・同和教育推進スタッフ 森脇)